

DRA-CAD 21 シリーズ



新機能概要

情報を繋ぎ、タスクを加速する

最新デバイスを活用して、設計業務をスマートに、スピーディに進める。
操作性向上や一括処理、データ互換性・データ連携も強化した最新バージョンです。

価格

DRA-CAD21	建築設計・製図CAD	209,000円(税込)
DRA-CAD21 LE	建築2次元製図CAD	104,500円(税込)

※ キャンペーン期間(2023年3月31日まで)は優待価格があります。

3Dスキャンした点群データに対応

iPhoneのLiDARスキャンを活用 ^{3D}

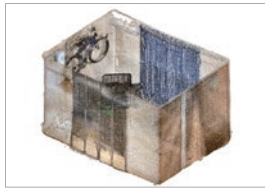
iPhone ProやPro MaxのLiDARでスキャンした3次元点群データを読み込めます。計画地の簡易測量的な使い方から、既存建築物の計測など、建築計画に活用できます。



スキャンした車の点群データ

点群に対応した描画や機能 ^{3D}

点群データの奥行きや素材の色を再現した表現が、DirectXで描画できます。「表示範囲指定」で、指定したXYZ方向の範囲内にあるデータのみを表示することで、作業がしやすくなります。



部屋の1面を非表示にして室内を見る

スマートでスムーズな設計スタイル

スマートフォンへの通知

大量の図面印刷や連続レンダリングなどの完了時に、作業が終わったことをスマートフォンに通知します。パソコンの前で待機する必要がなく、どこにいても、作業の進捗を確認できます。



出先でも進捗確認できる

作業状態の保存と読み込み

開いている図面を作業状態として保存できます。作業状態を切り替えると関係する図面が開かれ、ワンタッチですぐに作業を始められます。



瞬時に物件を切替えて作業

操作性の向上と機能改良

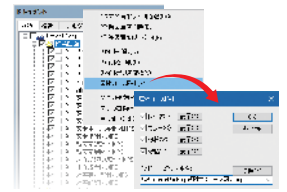
レイアウト図面を作りやすく

ビューポートの範囲を、元図面上で指定してレイアウト図面へ配置できます。レイアウト図面を作成する際の、ビューポートと範囲指定の設定が簡単になりました。

一括処理の強化による時短・業務効率化

属性のインポートを一括処理

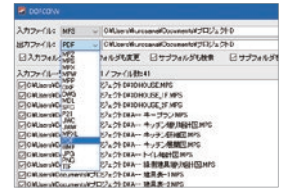
データ交換の際に、レイヤ設定やカラーパレットなどを調整してから作業を開始する場合があります。大量の図面があっても、ミスを減らしながら効率的な調整が可能です。



ドキュメントパレットで一括変更

複数図面をPDFや画像に一括変換

図面からPDFや画像への一括変換に対応しました。打合せ資料やほかの関係者への見本としてPDFを作成する必要がある時に、素早く作業を完了できます。

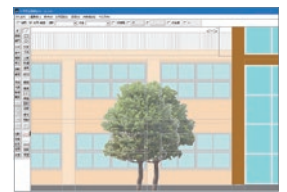


多様なファイルへ一括変換

データ互換性の向上

Jw_cadとのデータ変換

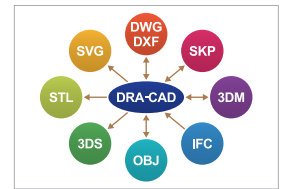
図面に貼った画像の透過色をやり取りできるようになりました。等間隔文字列などJw_cad独自の文字設定にも対応し、データ互換性が向上しています。



透過表現がJw_cadでも再現

Rhinocerosへの相互変換 ^{3D}

3次元モデリングツール「Rhinoceros」(Robert McNeel&Associates社)とのデータ交換が可能になりました。DRA-CADの図面をトレース用に渡すなど、3次元形状を活用できます。



SketchUpなども活用できる

イージーウォークスルー機能 ^{3D}

進行方向をダブルクリックして、簡単に視点移動＝ウォークスルーが起きます。クライアントに建物を案内しながら3Dモデルを見て回るようなプレゼンテーションが可能です。

そのほかの新機能

QRコードの読み込みに対応

図面に貼られたQRコードの画像から、文字情報を取得できるようになりました。

オンラインマニュアル

ユーザーズマニュアルとリファレンスマニュアルをWEBで見られるようになりました。移動先でもスマートフォンでも最新の情報が確認できます。

主な新機能対応表

	バージョン	21	20	19
データ変換				
点群データの読み込みに対応	3D	○		
Rhinocerosデータの読み書きに対応	3D	○		
JWW形式の画像の透過色の読み書きに対応		○		
一括変換で複数図面を画像やPDFにできる		○		
国土地理院の数値地図情報「GML形式の読み込み」に対応		○	○	
国交省3D都市モデル「OBJ形式の読み込み」に対応		○	○	
「JWW形式への書き出し」で、三角形分割できない図形を明示できる		○	○	
「DRA Viewer」で図面に貼った写真を表示できる		○	○	
レイヤー分けされたPDFを作成できる		○	○	○
複数のPDFファイルを図面へ「一括変換」できる		○	○	○
「ドキュメントパレット」で異なるファイル形式へ変換できる		○	○	○
元図面と全てのレイアウト図面をJWW形式に一括保存できる		○	○	○
レイアウト図面をMPW/MPP/JWW/JWC/P21/SFCに保存できる		○	○	○
操作性				
開いていた図面をプロジェクトごとに切替える「ワークスペース」		○		
複数の図面を一度に「属性インポート」できる		○		
「属性のインポート」で参照した図面をリストから選択できる		○		
ユーザーズ、リファンレスをWEBで表示		○		
ウィンドウタブの表示や色、閉じるボタンの表現などを設定できる		○		
前回終了時に開いていた図面を開いて起動できる		○	○	
連続延長カットに「この設定を継続して使用」のスイッチを追加		○	○	
連続中抜きに「この設定を継続して使用」のスイッチを追加		○	○	
リボンメニュー「開く」の子メニューに最近使ったファイルを配置		○	○	
右クリックメニューから最近使ったコマンドが起動できる		○	○	
Windows 10エクスプローラスタイルの外観に変更		○	○	
ダイアログ表示中にF1キーでリファレンスマニュアルを表示		○	○	
標準ユーザー権限で、オプションコマンドの登録・実行ができる		○	○	
4Kや8Kの高解像度ディスプレイに対応		○	○	○
複数図面の印刷で、順番や用紙、レイアウトの有無を設定できる		○	○	○
ユニコードをクリップボードから貼りつけて「文字記入」できる		○	○	○
「レイアウト管理」で指定したレイアウトを保存できる		○	○	○
ホイール回転で「文字アップダウン」「文字交換」の設定を追加		○	○	○
整合性と省力化				
ほかの図面の指定レイヤーを入れ替えたり、マージしたりできる		○	○	○

対応ファイル形式

ファイル入力	
C A D	mps, mpz, mpX, mpw, mpp, jwc, jww, dwg, dxf, sfc, p21, ifc*, skp*, obj*, 3dm*
画像	bmp, jpg/jpeg, tif/tiff, png
その他	pdf, pcd*, las*, wmf, emf, xml, gml
ファイル出力	
C A D	mps, mpz, mpX, mpw, mpp, jwc, jww, dwg, dxf, sfc, p21, skp*, sti*, 3ds*, obj*, 3dm*
画像	bmp, jpg/jpeg, tif/tiff, png
動画	avi
その他	pdf, wmf, emf, svg, xml, html

* DRA-CAD21 LEでは対応していないファイル形式です。

	バージョン	21	20	19
二次元製図				
寸法線の追加で出力サイズ指定に対応		○		
ビューポート内のハッチングをハッチング図形のまま分解できる		○		
「引き違い戸」で、戸のかかりしろの設定ができる		○		
元図面で範囲を指定して「ビューポートの作成」ができる		○		
「QRコード挿入」で、図面に貼られたQRコードが読める		○		
「矩形変換」で長方形を任意の四角形に変形できる		○	○	
閉じたポリラインの「重心」にスナップできる		○	○	
指定した寸法線の基点から「寸法線の追加」ができる		○	○	
「すべての図面を印刷」で複数の印刷範囲も印刷できる		○	○	
「すべての図面を印刷」でレイアウトの用紙サイズで印刷できる		○	○	
旧寸法線を「ピンセット」でストレッチ分割できる		○	○	○
三次元設計				
点群データの描画に対応したDirectX描画	3D	○		
より簡単に行き先を指示して「ウォークスルー」できる	3D	○		
「アニメーション」「連続レンダリング」で視点間を直線補完できる	3D	○		
SketchUp 2021形式の読み書きに対応 ※64bit版 Windowsのみ	3D	○		
階段を昇り降りしながらウォークスルーできる	3D	○	○	
「面の重心」スナップで二次元のポリラインへもスナップできる	3D	○	○	
SketchUp 2020形式の読み書きに対応 ※64bit版 Windowsのみ	3D	○	○	○
図形の指定面による「切断線・断面線」を作成できる	3D	○	○	○
「重心スナップ」ができる	3D	○	○	○
モバイル&クラウド				
大量の図面印刷やレンダリング終了時にスマートフォンに通知できる		○		
OneDriveへ読み書きできる		○	○	
「DRA Viewer」の注釈を反映して表示できる		○	○	○
Dropboxへ読み書きできる		○	○	○
図面表現				
動画や画像、リンクを「リンクアイテム」として埋め込める		○	○	
ユニコード文字で、番号が5桁以上や異体字の入力ができる		○	○	○
集計、計算				
選んだ図形に関する情報(長さ、面積など)を「クイック集計」できる		○	○	
選んだ図形を属性(レイヤ、カラーなど)で「クイック仕分集計」できる		○	○	
ブロックやパッケージ、シンボルを区別して「数量集計」できる		○	○	
ポリラインと高さを表す文字列から「平均天井高さの算定」ができる		○	○	○

○…DRA-CAD21の新機能&改良機能 ○…それぞれのバージョンで搭載している機能

動作環境

対 応 ○ S : Windows 11^{*1}/10^{*2} (64bit/32bit)
 ディスク空き容量 : 1.5GBのディスク空き容量
 グラフィックス : OpenGLならびにDirectX 9^{*3}の機能をサポートできるビデオカードとドライバ
 ライセンス認証 : アクティベーション認証^{*4}
 必要なソフトウェア : .NET Framework 4、3.5
 *1 Windows 11 Sは除きます。
 *2 Windows 10 Mobile/Windows 10 Sは除きます。
 *3 高速な描画が行えます。*4 アクティベーション認証は仮想化環境では利用できません。
 注) 単住宅3次元コマンドは32ビット版でのみ使用できます。
 注) 64ビット版ではOCXのオプションコマンドは動作しません。